

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却について

車両運搬具及び什器備品 ..... 定額法による減価償却を実施している。

#### (2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金 ..... 職員の退職給付に備えるため、当期末において財団職員が自己都合退職した場合の退職給付債務の見込額を計上している。

賞与引当金 ..... 賞与の支給見込額を算出し、そのうち当期に帰属する額を計上している。

貸倒引当金 ..... 回収懸念債権について、個別に今期末における状況を考慮し、貸倒見積高を算定して計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は外税方式による。

#### (4) キャッシュフロー計算書の会計処理について

キャッシュフロー計算書は直接法により表示している。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
基本財産定期預金等	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
<b>特定資産</b>				
文化振興基金資産	300,000,000	0	0	300,000,000
退職給付引当資産	659,339,387	23,999,614	113,739,944	569,599,057
減価償却引当資産	13,032,955	1,457,714	0	14,490,669
災害補償等積立資産	76,680,000	0	0	76,680,000
財団運営調整積立資産	98,719,825	0	0	98,719,825
青少年健全育成基金資産	75,000,000	0	0	75,000,000
東日本大震災被災者 修学支援基金資産	0	52,908,293	0	52,908,293
小 計	1,222,772,167	78,365,621	113,739,944	1,187,397,844
合 計	1,322,772,167	78,365,621	113,739,944	1,287,397,844

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
<b>基本財産</b>				
基本財産定期預金等	100,000,000	100,000,000	0	—
小 計	100,000,000	100,000,000	0	—
<b>特定資産</b>				
文化振興基金資産	300,000,000	300,000,000	0	0
退職給付引当資産	569,599,057	—	—	569,599,057
減価償却引当資産	14,490,669	0	14,490,669	0
災害補償等積立資産	76,680,000	0	76,680,000	0
財団運営調整積立資産	98,719,825	0	98,719,825	0
青少年健全育成基金資産	75,000,000	75,000,000	0	0
東日本大震災被災者 修学支援基金資産	52,908,293	52,908,293	0	0
小 計	1,187,397,844	427,908,293	189,890,494	569,599,057
合 計	1,287,397,844	527,908,293	189,890,494	569,599,057

### 5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	6,222,708	5,944,987	277,721
什器備品	2,612,000	2,611,995	5
合 計	8,834,708	8,556,982	277,726